

現場を支えるネットストア

証券コード3064

株式会社MonotaRO

第2四半期決算説明会



2009年7月31日



[www.monotaro.com](http://www.monotaro.com)

# 目次

自己株式取得及び大株主の異動について



当社概要

09年第2Q決算の概要

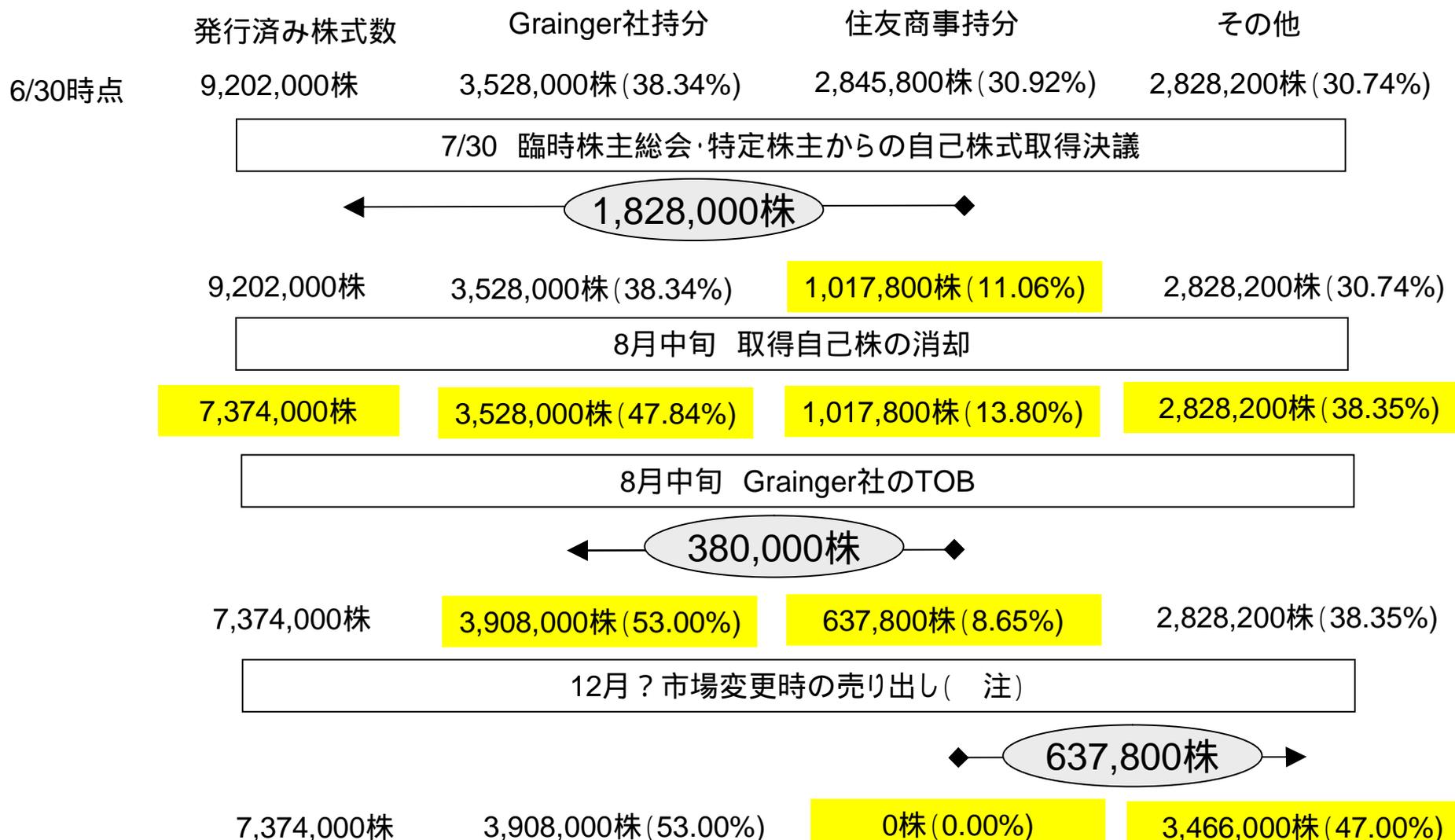
09年通期事業計画、事業戦略

本資料に記載の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

自己株式取得及び大株主の異動について



## 自己株式取得及び大株主の異動について-取引の概要



注: 東京証券取引所にて市場変更について承認を受けられるかどうかは不確定な要素を含んでおり、市場変更が認められない場合があります。

# 当社概要



## -1 当社概要

### 主な事業内容

インターネット等を利用した工場・工事用間接資材、自動車アフターマーケット商品の通信販売  
(商品点数：90万点・うち4万8千点が在庫商品)

### 販売商品の特徴

種類は多岐にわたり、顧客にとっては価格よりも利便性が重要

### 主な競合

訪問工具商・金物屋・自動車部品商等

### 主な顧客層

製造業・工事業・自動車整備業等(中小企業が中心顧客)

### 市場規模

5～10兆円

### 2008年度売上

140億円

### 経営戦略

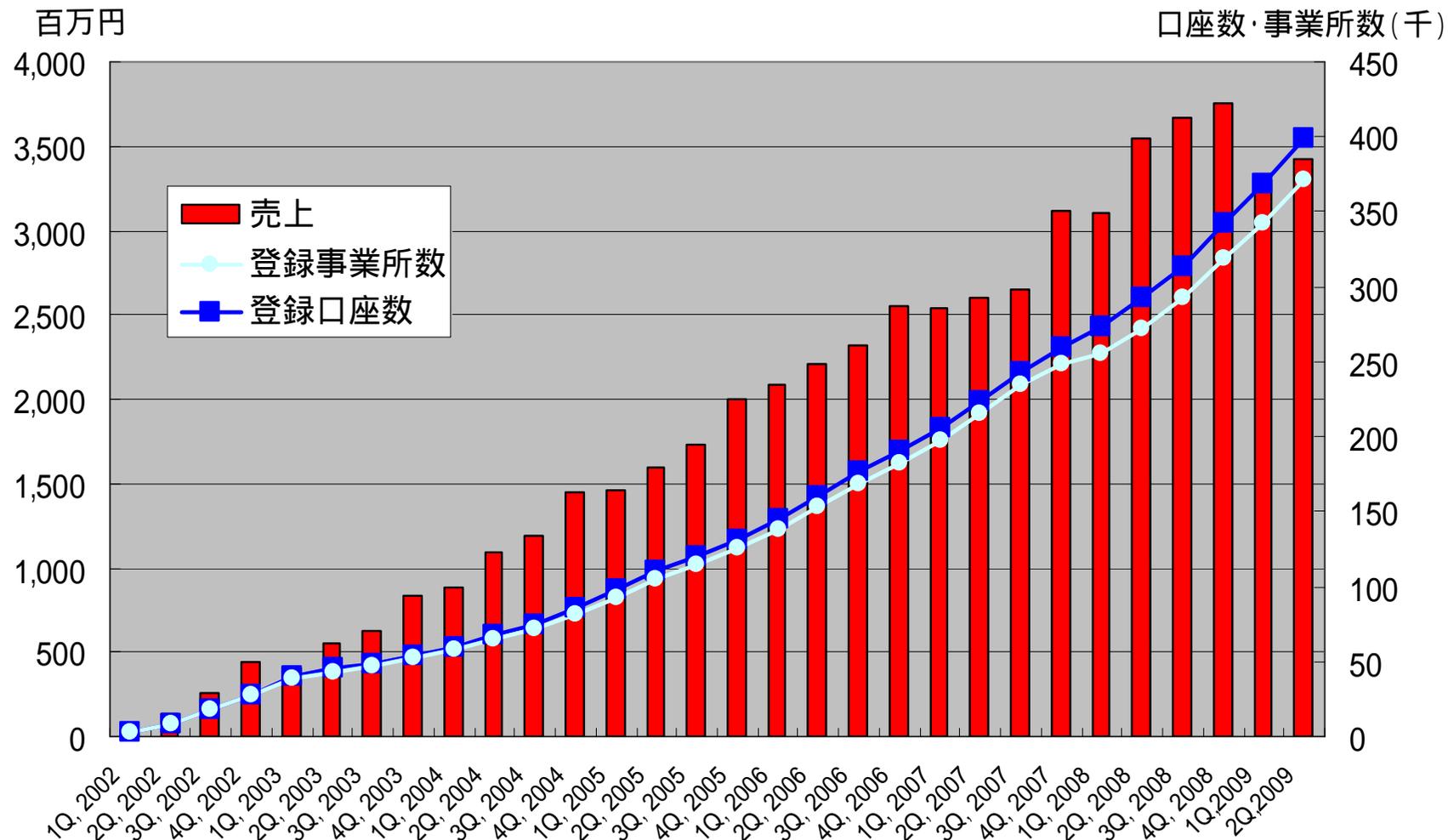
- (1) インターネットを利用した通信販売で規模の経済を実現し、幅広い商材と高い検索性で差別化を図る。
- (2) 累積する受注・顧客データベースを整備分析したマーケティングで顧客の囲い込みを図る。
- (3) 自社にてのソフト開発からコンテンツ制作までを行うことで高い生産性をあげる。

### 課題

顧客にとって興味の少ない市場で知名度をあげ、市場に浸透すること。  
成長にあわせたインフラストラクチャーを構築すること。

## - 2 過年度の業績推移 - 1

### 売上高と顧客数の推移

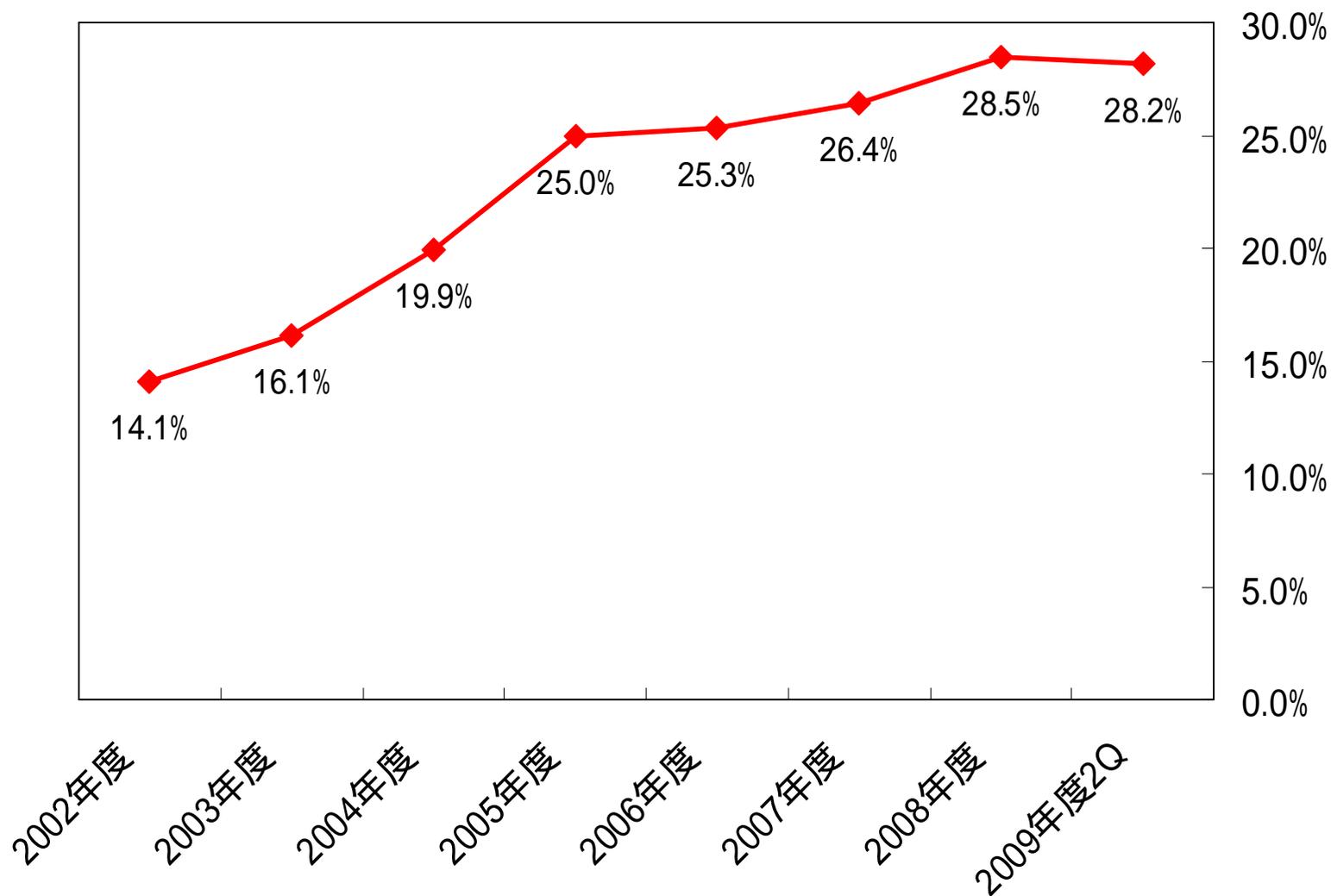


2009年度より登録顧客数について公表数を従来の事業所数から口座数に変更致します。1事業所が複数の口座を登録されることがあります。2009年3月から2009年12月までの登録事業所数・口座数の推移は以下の通りです。

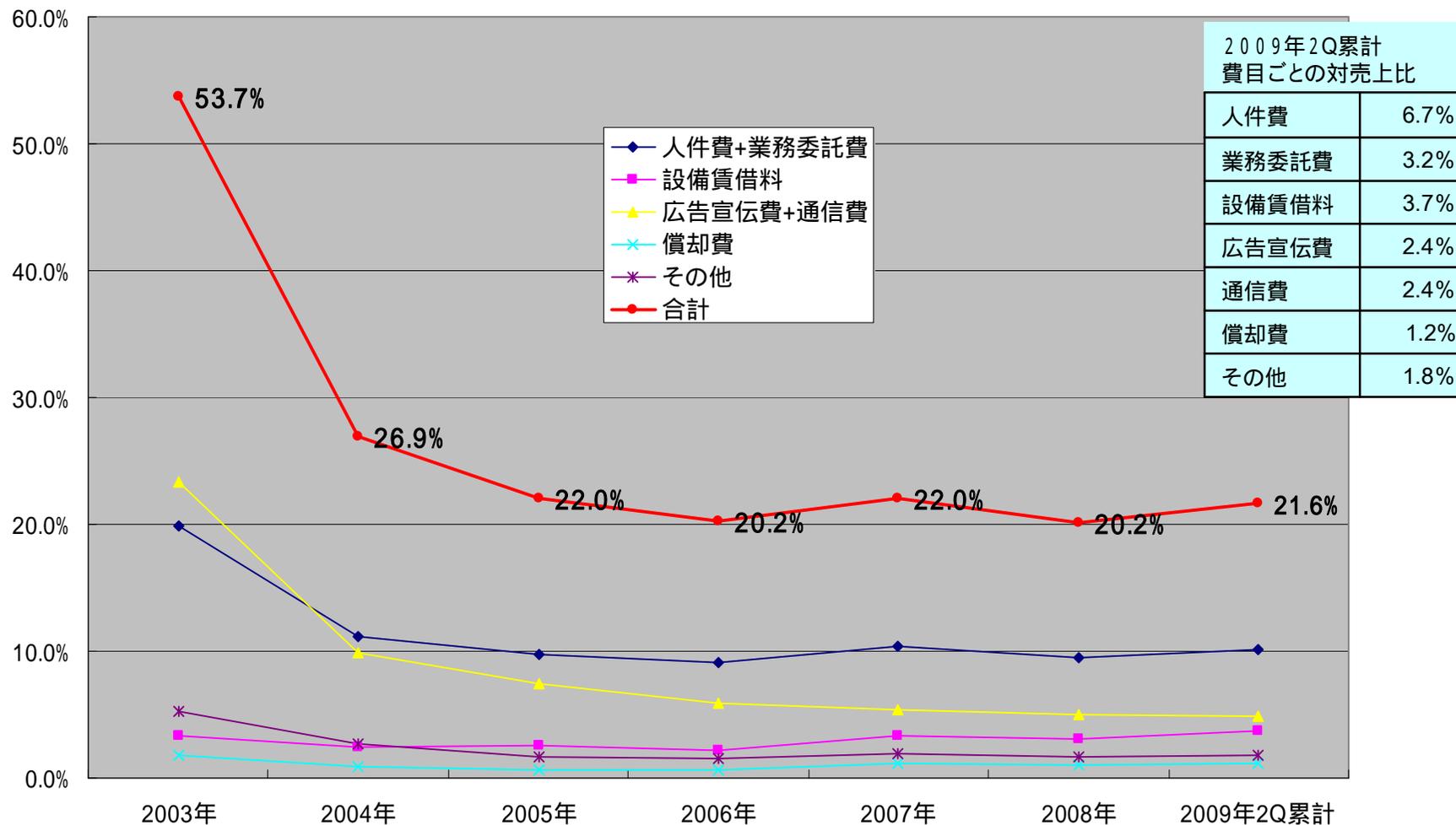
2008年12月	事業所数	319,561	⇒	2009年6月	事業所数	371,226 (51,665増加)
	口座数	342,761			口座数	399,296 (56,535増加)

## - 2 過年度の業績推移 - 2

### 売上総利益率の推移



## - 2 過年度の業績推移 - 3 販売管理費の売上比率推移



# 09年第2Q決算の概要



## -1 実績比較表

	2008年上期実績		2009年第2四半期累計実績				2009年第2四半期 累計予想		2009年通期予想	
	金額(千円)	売上高 比率	金額(千円)	売上高 比率	予想比	前年比	金額(千円)	売上高 比率	金額(千円)	売上高 比率
売上高	6,650,092	100.00%	6,723,526	100.00%	94.59%	101.10%	7,108,333	100.00%	15,012,636	100.00%
売上総利益	1,883,560	28.32%	1,896,428	28.21%	95.88%	100.68%	1,977,932	27.83%	4,175,329	27.81%
販売管理費	1,236,973	18.60%	1,453,754	21.62%	94.65%	117.53%	1,535,888	21.61%	3,158,829	21.04%
営業利益	646,586	9.72%	442,673	6.58%	100.14%	68.46%	442,044	6.22%	1,016,500	6.77%
経常利益	659,786	9.92%	442,338	6.58%	100.52%	67.04%	440,053	6.19%	1,003,141	6.68%
当期(中間) 純利益	640,839	9.64%	251,333	3.74%	103.89%	39.22%	241,913	3.40%	567,792	3.78%

## -2 貸借対照表サマリー

			2008年12月		2009年6月	
			(千円)	構成比	(千円)	構成比
資産の部	流動資産	現預金	1,724,549	27.67%	1,838,062	30.64%
		受取手形・売掛金	1,611,242	25.86%	1,542,578	25.72%
		棚卸資産	1,557,783	25.00%	1,313,756	21.90%
		貸倒引当金	20,436	-0.33%	16,745	-0.28%
		その他	593,061	9.52%	509,973	8.50%
	流動資産合計		5,466,201	87.72%	5,187,626	86.49%
	固定資産	有形固定資産	203,991	3.27%	189,898	3.17%
		無形固定資産	378,159	6.07%	430,673	7.18%
		投資その他資産	183,082	2.94%	189,942	3.17%
	固定資産合計		765,233	12.28%	810,514	13.51%
資産合計			6,231,434	100.00%	5,998,140	100.00%
負債の部	流動負債		2,040,543	32.75%	1,781,636	29.70%
	固定負債		-	-	-	-
負債合計			2,040,543	32.75%	1,781,636	29.70%
純資産の部	株主資本	資本金	1,675,849	26.89%	1,675,849	27.94%
		資本剰余金	480,387	7.71%	480,387	8.01%
		利益剰余金	2,034,653	32.65%	2,055,937	34.28%
	自己株式				119	0.00%
	株主資本合計		4,190,889	100.00%	4,212,055	70.22%
	新株予約権		-	-	4,448	0.07%
純資産合計			4,190,891	67.25%	4,216,503	70.30%
負債・純資産合計			6,231,434	100.00%	5,998,140	100.00%

### -3 キャッシュフローサマリー

区分		2008年12月期	2009年12月期第2四半期累計
		(千円)	(千円)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
	税引前当期純利益	1,173,407	441,770
	売上債権の増減額	221,340	68,663
	棚卸資産の増減額	328,004	243,754
	仕入債務の増減額 ( 減少 )	178,498	133,841
	その他	244,497	151,912
	計	1,047,058	468,434
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
	有形固定資産取得による支出	69,925	14,686
	無形固定資産取得による支出	187,108	109,332
	その他取得による支出	46,482	2,007
	計	303,515	126,026
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
	配当金の支払額		228,776
	その他		119
	計	1,050	228,895
現金及び現金同等物の増減額 ( 減少 )		744,593	113,513
現金及び現金同等物の期首残高		979,955	1,724,549
現金及び現金同等物の期末残高		1,724,549	1,838,062

## -4 セグメント別売上

(単位:百万円)

	2008年通期	構成比	2008年上期	構成比	2009年 第2四半期累計	構成比	前年同期比
工場消耗品	7,119	50.61%	3,446	53.44%	3,351	49.70%	-2.8%
工場交換部品	4,728	33.61%	2,162	30.86%	2,375	35.29%	9.9%
その他	2,220	15.78%	1,040	15.67%	995	14.99%	-4.3%
合 計	14,067	100.00%	6,650	100.00%	6,723	100.00%	

# 09年通期事業計画、事業戦略



## -1 2009年12月期業績予想

科 目	2008年12月期 実績		2009年12月期 通期予想		
	金 額 (千円)	売上高比率	金 額 (千円)	売上高比率	対前年比
売上高	14,068,391	100.00%	15,012,636	100.00%	107.00%
売上総利益	4,007,324	28.48%	4,175,329	27.81%	104.00%
販売管理費	2,838,601	20.18%	3,158,829	21.04%	111.00%
営業利益	1,168,722	8.31%	1,016,500	6.77%	87.00%
経常利益	1,196,172	8.50%	1,003,141	6.68%	84.00%
当期純利益	1,120,013	7.96%	567,792	3.78%	51.00%
1株当たり当期純利益(円)	121		61		

1株当たり当期純利益は発行済株式総数を9,202,000として計算しています。

### 1. 新規顧客獲得

新規顧客獲得の最大のチャンスと捉え、インターネット・ダイレクトメールによる販促を強化し、月間新規顧客獲得1万事業所を目指す。

### 2. 輸入消耗品の強化

顧客は従来以上に安い商品を求めており、PBや輸入商品売り込むチャンス。特に自動車アフターマーケット向において注力する。

### 3. 効率的プロモーションによるコスト削減

- (1) カタログ分冊化で必要な人に必要な組み合わせのカタログを送付する。
- (2) DTPによる1to1でのチラシを作成
- (3) データマイニング強化・キャンペーンマネジメントツールの導入によりプロモーションの効果を最大化させる。

### 4. 購買頻度の維持

注文単価が一時的に低下しても、顧客の購買習慣が残れば好況時に飛躍できるため、売上より購買頻度の維持に力を入れる。

### 5. 物流センターの最適化

急成長時には困難であった物流センターの効率の最適化を図り2010年以降の急成長に耐えられるインフラを作る。



< 本資料ならびにIRに関するお問合せ >

管理部 担当 山崎

TEL 06-4869-7111

FAX 06-4869-7178

E-mail: [yamazaki@monotaro.com](mailto:yamazaki@monotaro.com)